

吉本光宏委員意見発表資料

(2) 文化芸術振興のための基本的視点について

○ 第2次基本方針の実施状況の検証・評価
①第2次基本方針の実施状況はどうか。
<p>第1回部会で配布された資料「重点事項の進捗状況と今後の課題」には、項目ごとに実施した施策と予算額が整理されており、施策の実施状況は把握できるが、重要なのはその結果、それぞれの政策目標に対してどのような成果が生まれたかを検証することである。残念ながら、第2次基本方針に基づいて実施された施策の効果、成果を検証するデータ、エビデンスの収集はあまり行われていないのではないかと考えられる。その振り返りも重要だが、こうした状況を繰り返さないためには、むしろ②に述べるように第3次方針の中で、効果を把握するための評価指標やエビデンスの収集方法を盛り込んで行くべきだと考えられる。</p>
○ 第2次基本方針の実施状況の検証・評価
②施策の効果について把握するため、今後、どのような評価指標を設定し、どのようにエビデンスを収集することが望ましいか。
<p>第3次基本方針の目標、政策・施策に応じた評価指標、収集すべきエビデンスをあらかじめ設定すべきだが、具体的な評価指標、収集すべきエビデンスについては第3次基本方針や重点施策が定まらなないと検討できない。ただしそれを前提として、例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ①政策の効果把握のための調査（アンケート、グループインタビュー、ケーススタディ等）やデータ収集を文化庁が実施する ②助成制度の場合、助成を受けた団体が効果把握のために実施する調査、エビデンス収集などにも助成額の一部（5～10%程度）を使えるようにし、効果把握に必要な情報提供を依頼する <p>といった仕組みが考えられる。</p> <p>そのためには、すべての施策を対象とすることは難しくても、重点施策、新規施策については、工程表と達成目標などを明確にした上で、アウトプット、アウトカムの両面から施策を評価、検証できるしくみを取り入れるべきである。</p>
○ 文化芸術振興の今後の基本的な方向性
①第2次基本方針策定後の諸情勢の変化は我が国の文化芸術にどのような変化を及ぼしているか。
<p>A. 国際的な視野からみた文化芸術の状況について（低下が懸念される日本の文化的プレゼンス）</p> <p>日本の文化芸術に対する支援制度は1990年後半から2002年度にかけて大幅に拡張され、多様な成果をもたらしてきたが、第1次基本方針閣議決定後の2003年度以降、文化予算は横ばいが続いている。その結果、欧米諸国ばかりか、韓国、シンガポールなどのアジア諸国と比較しても、国の文化予算の規模は低調と言わざるを得ない。文化予算の額だけが、その国の文化政策の正否を決めるものではないが、このままでは、長い年月をかけて培われてきた日本の文化的なプレゼンスが、諸外国と比して低下する恐れがある。さらに、従来の文化芸術だけでなく、メディア芸術やデザイン、ファッションといった日本の強みを発揮できる文化的、創造的産業も含めた総合的な振興策が求められている。</p>

B. 地域における文化芸術の状況について（地域の疲弊と文化芸術）

厳しい財政状況に加え、指定管理者制度の影響などもあり、地方公共団体の文化予算、公立文化施設の運営予算は低迷が続いている。一方で、地域に活動の拠点を置くアートNPOの数は着実に増加し、文化芸術そのものの振興だけではなく、文化芸術を核にした教育、福祉、まちづくり等への展開が活発に行われるようになってきている。とりわけ、遊休施設等を活用した創造拠点の創設、あるいは、地域の住民を巻き込みながら文化芸術によって地域に活力をもたらすような活動は全国的な広がりを持つようになってきた。地方分権、新しい公共、NPO活動の推進といった現政権の基本方針を視野に入れば、こうしたアートNPOの活動をより活発なものとするための施策の整備が急務と思われる。（添付資料参照）

○ 文化芸術振興の今後の基本的な方向性

②今後の文化芸術振興にあたっての基本的な方向性は何か。特に、「ソフト」「ヒューマン」に軸足を置き、頂点の伸長、裾野の拡大、経済活動・地域活動の活性化、国際交流の推進等の観点から、どうあるべきか。

【Bを中心に】

上記の状況、並びに「ソフト」「ヒューマン」に軸足を置いた文化芸術活動を推進するためには、これまで文化施設や（実演）芸術団体を中心に整備されてきた助成制度に加え、アートNPOの実態に即した支援制度を新たに創設し、文化芸術と地域活動の活性化を結びつけていくことを重要な施策のひとつに位置づけるべきである。アートNPOの収支構造は、基本的な管理・運営費（人件費）が設置団体から支給される公立文化施設、チケット収入の見込める（実演）芸術団体とはまったく異なっており、従来のような1/3（1/2）助成、全額後払いという制度は現実的ではなく、実態に即した制度設計を行うべきだと考えられる。

また、現在の日本の文化芸術の状況は、頂点の伸長、裾野の拡大といった単純なピラミッド構造で表されるものではない。全国各地に頂の異なる無数の頂点が点在している状況で、地域活動の活性化を視野に入れば、全国一律の施策によって一握りの頂点を伸長することは、時代のニーズに即しているとは言いにくい。ここでも、地方公共団体やアートNPOに蓄積されたネットワークやノウハウ、経験を含め、地域の実情を踏まえた施策や支援策を地域主導で実施できる「地方分権型」のしくみを検討すべきである。その際、第2次基本方針の重点事項に盛り込まれていた「再助成制度」の有効性を視野に入れた施策、制度設計などを再検討したい。

参考資料: 英国の文化政策の流れ

吉本光宏 | ニッセイ基礎研究所

1. アーツカウンシル(芸術評議会)

- 1946年にグレート・ブリテン芸術評議会[Arts Council of Great Britain, ACGB]を設立(1940年に設立された音楽・芸術振興評議会[The Council for the Encouragement of Music and Arts]を改組、発展させたもの)
- 初代会長は経済学者のジョン・ケインズ。「公的機関の任務とは、教えたり検閲したりすることではなく、芸術家に勇気と自信と機会を与えることである」
- アームズレンクス(arms length)の法則
- 94年、ACGBはイングランド、スコットランド、ウェールズの3つに分割、北アイルランドを加えた4つの芸術評議会が、公営宝くじからの文化助成金の分配を行うことになった
- イングランド芸術評議会は、9つの地域に分けてそれぞれに地域事務所(regional office)が設けられ、助成先の決定は地域事務所で行い、ナショナル・オフィスが助成金の交付を行うしくみ。
- 助成金には、都度申請を行わなくても3年連続で交付される定期助成(Regular Funding)と事業単位で申請を行って助成される事業助成(Grants for the Arts)の二種類がある。
- 2001.9までの7年間の宝くじ基金による4つのアーツカウンシル助成金:18億ポンド[4,300億円]、21,000件

2. サッチャー政権(1979年、保守党)

- 英国病(労働党政権による充実した社会保障制度に国民が依存してきたことによって経済と社会の停滞を招いたとされる現象)からの脱却
- 新自由主義(neoliberalism)、市場原理の重視(value for money)、経済効率(Cost Efficiency)の重視、国営企業の民営化、PFI など
- アーツカウンシルは、70年代から80年代にかけて、エリート的な芸術ばかり助成していることや左翼的であるという批判を受ける。芸術至上主義(Arts for Arts' Sake)の見直し。
- 80年代に、衰退する英国経済の建て直しのため文化予算の拡大を停止、87年にはアーツカウンシルの助成金を受ける団体は半分に削減
- 文化支援から文化投資へ(都市再生や観光促進など政治と関心の高い分野に文化を活用)

3. ブレア政権(1997年、労働党)

- Cool Britannia、登録商標ブリテン(Britain [TM]: renewing our identity、マーク・レナード)
- 国民遺産省(Department of National Heritage、1992年設立)→文化・メディア・スポーツ省(Department of Culture, Media and Sport、1997年)
- Evidence Based Policy(目的、目標、ターゲット、戦略 Evidence、証拠・事実)
- 1998年:新しい文化の枠組み(A New Cultural Framework)
 - ①限られた人々にではなく、多くの人々に文化・芸術に触れる機会を提供すること(the

promotion of access for the many not just for few)

②文化・芸術の卓越性、革新の追求すること(the pursuit of excellence and innovation)

③教育的な機会を拡大すること(the nurturing of educational opportunity)

④クリエイティブ産業を成長させること(the fostering of the creative industries)

- **2000年: All Our Futures: Creativity, Culture and Education**

教育・雇用省と文化・メディア・スポーツ省の試問を受けて、創造的・文化的教育の国家諮問委員会が答申。

「経済活動が、個人や組織の新しいアイデアを創出する能力に依存するようになってきた」

ことから、「創造力は、経済発展に取り組むための基本的な力だと考えられる」

創造的教育(Creative Education)を、「青少年の独自のアイデアと行動に対する能力を開発する教育形態」と定義し、アーティストや特定のタイプの人だけではなく、「人間の活動のあらゆる分野において創造的達成の可能性がある」

- **2001年: 文化と創造性、これからの10年(Culture and Creativity: The Next Ten Years)**

「創造性が子どもの成長に重要な役割を果たし、雇用の機会を提供し、人々の生活を豊かにし、社会的排除を克服して、人々に喜びと充実した日々を提供することである」

「この自由な精神において、芸術は政府のシナリオの核心部分に位置している(トニー・ブレア)」、文化大臣の入閣

①クリエイティブ・パートナーシップ(Creative Partnerships)

②芸術の卓越性の解放(Freeing Excellence)

③国立の博物館と美術館の無料化(Free National Museums and Galleries)etc.

- **2008年: クリエイティブ・ブリテンー新しい経済のための新しい才能(Creative Britain: New Talents for the New Economy)**

①クリエイティブ産業の支援と才能在る人材の育成

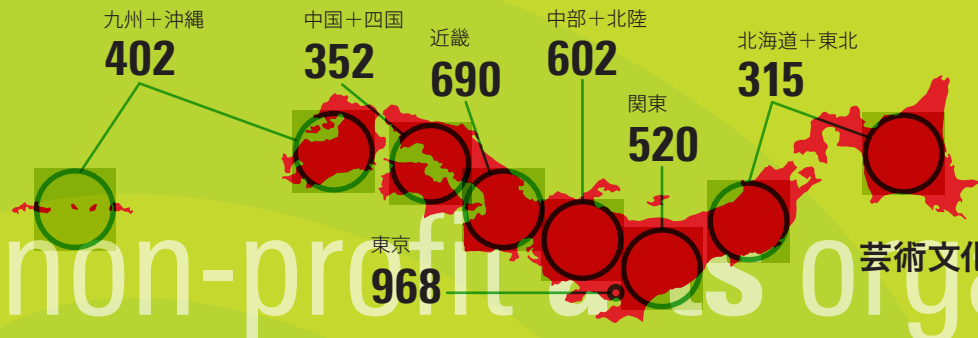
②創造産業を刺激し、最先端の文化・芸術をつくりあげること

③10年後の英国はすべての青少年がクリエイティブな才能を活用できる仕事を選択可

1. すべての子どもへの創造的教育の提供(「才能発見(Find your Talent!)授業」(~8)

2009年度
3,849

芸術文化を活動に含むNPO法人数 total
資料作成: NPO法人アートNPOリンク



JCDN 踊りに行くぜ! vol.1-10

2000-10 **23,532** **43** **258**
参加来場者数(人) 都市数 アーティスト(組)

トヨタ・子どもとアーティストの出会い

2004-09 **4,606** **9** **36** **10**
参加児童・生徒数(人) 地域 学校数 NPO数

全国アートNPOフォーラム [ANF]

2003-09 **1,198** **244** **21**
参加者数(のべ/人) 来場NPO数(のべ) 支援企業数(のべ)

アサヒ・アート・フェスティバル [AAF]

2002-09 **478,269** **260**
参加来場者数(のべ/人) 総プロジェクト数

札幌市 Arts NPO Forum 2004
AAF2009「YOYOYO プロジェクト」
AAF2007「向井山朋子 夏の旅」
AAF2007「SNOW SCAPE MOERE」
AAF2005「南の家、北の家。」
AAF2004「ピラミッド・サーカス」
踊りに行くぜ!! vol.1-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2006-07

岩見沢市 AAF2010「ZAWORLD II」
士幌町 AAF2009「十勝アーティスト・イン・スクール事業」
帯広市 AAF2006「田園都市のコンテンポラリーアート2006」
函館市 踊りに行くぜ!! vol.10
弘前市 踊りに行くぜ!!

青森市 Arts NPO Forum 2006
AAF2010「ういむい未来の里」
AAF2005-2007,2009「空間実験室」
AAF2006-2008「キッズカレッジ」
踊りに行くぜ!! vol.6-9

八戸市 AAF2009-2010「八戸横丁アートプロジェクト」
踊りに行くぜ!!
長井市・白鷹町 AAF2008「横丁アートセッション in 山形」
AAF2007「向井山朋子 夏の旅」

仙台市 Arts NPO Forum mini 2004
AAF2007「向井山朋子 夏の旅」
AAF2003「緑台ツアー-2003」
踊りに行くぜ!! vol.9
トヨタ・子どもとアーティスト 2008

大崎市 AAF2010「千年湯治」
AAF2009-2010「ENVISVI」
AAF2004-2008「倉庫のまちで逢いましょう。」
AAF2005-2008「GOTEN GOTEN アート湯治祭」
AAF2005「ふたつの向島」

いわき市 AAF2008「Art!Port!Onahama2008」

日光市・桐生市・みどり市 AAF2007-2009「わたらせ渓谷鐵道現代美術展」

東京 AAF2002-09 多数
踊りに行くぜ!! vol.1-10
トヨタ・子どもとアーティスト

茅ヶ崎市 踊りに行くぜ!!

静岡市 踊りに行くぜ!! vol.6-8,10

栗東市 踊りに行くぜ!! vol.5-9

豊岡市 踊りに行くぜ!!

洲本市(淡路島) Arts NPO Forum 2007
AAF2005-2010「淡路島アートフェスティバル」

松山市 AAF2009「アートプラットフォームえひめ2009」
AAF2005-2008「三津浜アートの渡し」
踊りに行くぜ!! vol.3-10

四万十市 AAF2005-10「四万十川国際音楽祭」

竹田市 AAF2009「アートと歴史の出会いまち」

佐伯市 トヨタ・子どもとアーティスト 2008

宮崎市 踊りに行くぜ!! vol.8-10

新潟市 踊りに行くぜ!! vol.4-7,9
十日町 踊りに行くぜ!!
富山市 AAF2008-2010「八尾スローアートショー-2010」
踊りに行くぜ!! vol.2-3

長野市・千曲市 AAF2006-2010「ながのアートプロジェクト」
茅野市 踊りに行くぜ!! vol.9
氷見市 AAF2005「氷見クリック2005」
甲府市 AAF2010「こうふのまちの芸術祭」
伊勢市 AAF2005「河崎アートスクール2005」

舞鶴市 Arts NPO Forum 2009
AAF2010「まいづるRB・アート・フェスティバル」
踊りに行くぜ!! vol.9

鳥取市 Arts NPO Forum 2010
踊りに行くぜ!! vol.8-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2010

吉備中央町 トヨタ・子どもとアーティスト 2009

瀬戸内市 トヨタ・子どもとアーティスト 2008

岡山市 AAF2007-2010「アートリンク・プロジェクト」
AAF2010「ゲストハウス・タウン」
踊りに行くぜ!! vol.4-5
トヨタ・子どもとアーティスト 2009

広島市 踊りに行くぜ!! vol.2-10
高知市 踊りに行くぜ!! vol.7-9
山口市 踊りに行くぜ!! vol.6-8

福岡市 踊りに行くぜ!! vol.2-10
佐世保市 踊りに行くぜ!! vol.5-10

水俣市 AAF2005「水俣アートフェスティバル」
那覇市・沖縄市 Arts NPO Forum 2008
AAF2005-2010「スタジオ解放区」
AAF2005「アートボランティア育成ゼミ」
踊りに行くぜ!! vol.3-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2005-06

京都市・宇治市 AAF2006-2008「大枝アートプロジェクト」ほか多数
トヨタ・子どもとアーティスト 2003,04

伊丹市 踊りに行くぜ!! vol.9-10

神戸市 Arts NPO Forum 2003
AAF2005「神戸カエルキャラバン 2005」

大阪市 Arts NPO Forum 2007
AAF2010「アートとまちがであったときに」
AAF2009「此花アーツファーム構想」
AAF2008-2009「住み開きアートプロジェクト」
AAF2006「ビッグ益!」
踊りに行くぜ!! vol.1-8

別府市 Arts NPO Forum 2006
AAF2005-2009「BEPPEU PROJECT」
AAF2008「ふらっとDance」
AAF2005「PLEASE SEND JUNK FOOD」
踊りに行くぜ!! vol.7-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2007,09

天川村 AAF2007「天川 星座遺産プロジェクト」

淡路市(淡路島) 踊りに行くぜ!! vol.9-10

名古屋市・春日井市 踊りに行くぜ!! vol.2-7,10

船橋市 Arts NPO Forum pre 2005
AAF2006-「千葉クリエイティブクラスター」
AAF2005「フリフリプロジェクト」

前橋市 Arts NPO Forum 2005
踊りに行くぜ!! vol.2,3,5-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2007-08

大原町 AAF2009「アート屋台プロジェクト in 仙南」
踊りに行くぜ!!

一関市 AAF2007「向井山朋子 夏の旅」

珠洲市 踊りに行くぜ!!

金沢市 AAF2005「ALK2005」
踊りに行くぜ!! vol.5-7,9

尾鷲市 AAF2005「my life / your life」

尾道市 AAF2005,2009「天若湖アートプロジェクト」

西の島町(隠岐諸島) AAF2007-2010「外浜まつり」

鏡野町 トヨタ・子どもとアーティスト 2006

赤磐市 トヨタ・子どもとアーティスト 2006

笠岡市(真鍋島) トヨタ・子どもとアーティスト 2008

天川市 AAF2007「天川 星座遺産プロジェクト」

京都市・宇治市 AAF2006-2008「大枝アートプロジェクト」ほか多数
トヨタ・子どもとアーティスト 2003,04

伊丹市 踊りに行くぜ!! vol.9-10

神戸市 Arts NPO Forum 2003
AAF2005「神戸カエルキャラバン 2005」

大阪市 Arts NPO Forum 2007
AAF2010「アートとまちがであったときに」
AAF2009「此花アーツファーム構想」
AAF2008-2009「住み開きアートプロジェクト」
AAF2006「ビッグ益!」
踊りに行くぜ!! vol.1-8

別府市 Arts NPO Forum 2006
AAF2005-2009「BEPPEU PROJECT」
AAF2008「ふらっとDance」
AAF2005「PLEASE SEND JUNK FOOD」
踊りに行くぜ!! vol.7-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2007,09

天川村 AAF2007「天川 星座遺産プロジェクト」

淡路市(淡路島) 踊りに行くぜ!! vol.9-10

名古屋市・春日井市 踊りに行くぜ!! vol.2-7,10

船橋市 Arts NPO Forum pre 2005
AAF2006-「千葉クリエイティブクラスター」
AAF2005「フリフリプロジェクト」

前橋市 Arts NPO Forum 2005
踊りに行くぜ!! vol.2,3,5-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2007-08

大原町 AAF2009「アート屋台プロジェクト in 仙南」
踊りに行くぜ!!

一関市 AAF2007「向井山朋子 夏の旅」

珠洲市 踊りに行くぜ!!

金沢市 AAF2005「ALK2005」
踊りに行くぜ!! vol.5-7,9

尾鷲市 AAF2005「my life / your life」

尾道市 AAF2005,2009「天若湖アートプロジェクト」

西の島町(隠岐諸島) AAF2007-2010「外浜まつり」

鏡野町 トヨタ・子どもとアーティスト 2006

赤磐市 トヨタ・子どもとアーティスト 2006

笠岡市(真鍋島) トヨタ・子どもとアーティスト 2008

天川市 AAF2007「天川 星座遺産プロジェクト」

京都市・宇治市 AAF2006-2008「大枝アートプロジェクト」ほか多数
トヨタ・子どもとアーティスト 2003,04

伊丹市 踊りに行くぜ!! vol.9-10

神戸市 Arts NPO Forum 2003
AAF2005「神戸カエルキャラバン 2005」

大阪市 Arts NPO Forum 2007
AAF2010「アートとまちがであったときに」
AAF2009「此花アーツファーム構想」
AAF2008-2009「住み開きアートプロジェクト」
AAF2006「ビッグ益!」
踊りに行くぜ!! vol.1-8

別府市 Arts NPO Forum 2006
AAF2005-2009「BEPPEU PROJECT」
AAF2008「ふらっとDance」
AAF2005「PLEASE SEND JUNK FOOD」
踊りに行くぜ!! vol.7-10
トヨタ・子どもとアーティスト 2007,09